

ダイソン エアブレード Tap



AB09/10/11取り付けガイドおよび取扱説明書

本説明書を注意して読み、大切に保管してください。

安全にお使いいただくための注意

本ユニットの取り付けや使用前に、取扱説明書および取り付けガイドに記載された手順と注意マークの項目をすべてお読みください。

警告

配線工事や水道工事をとまなう施工や修理作業はすべて、日本国内の法律や規制に従い、工事士の資格者またはダイソンサービス技術者が行ってください。

感電の危険があります！

カバーを無理やり外したり、本ユニットの内部部品を誤った使い方をした場合、重症を負うおそれがあります。本ユニットは、屋内の乾燥した場所でのみ使用するように設計されています。

火災、感電、または怪我を未然に防ぐために、以下の点に注意してください。

取り付ける前に

取り付け作業を始める前に、以下の点を確認してください。

配線

- ・ 電源供給が定格銘板の記載に一致することを確認してください。本ユニットをユニットの定格銘板に記載された電源供給以外に接続すると、ハンドドライヤーの故障や、危険な誤作動の原因となる可能性があります。
- ・ 電源コードは、日本国内の配線規制に従って、電源接続端子に確実に固定して下さい。
- ・ 適切な電線と電源コードを使用して電源に接続してください。電線と配線は、バックプレートとコネクタブロックへの接続に十分な長さを確保してください。

安全

- ・ 取り付け作業中は、防護服等の保護具の使用を推奨しています。
- ・ 施工は必ずブレーカーを切ってから行ってください。

取り付け

- ・ 本ユニットの取り付けに当たっては、建築に関する法律および規制を必ず順守してください。
- ・ 本ユニットは、凹凸のない平らな面に取り付けなければなりません。
- ・ ドリルで取り付ける部分の裏側に配管(ガス、水、空気)または配線(電源コード、ワイヤー)がないことを確認してください。
- ・ ダイソンでは、取り付け/修理の際には必要に応じて防護服、保護めがね、保護材料の使用を推奨しています。
- ・ ハンドドライヤーを使用する方の手についている水が電気器具と接触しないよう、本ユニットを設置してください。
- ・ 本ユニットへの水の供給は、日本国内の規制に従って温度調節器を通して行わなくてはなりません。
- ・ 本ユニットの赤外線センサーが、排水溝などの光を反射する部分に直接向かないように設置してください。

取り付け場所

- ・ 本ユニットは、屋内の乾燥した場所でのみ使用するように設計されています。
- ・ 関連する取り付けガイドラインについては、取り付け作業者が責任を持って、日本国内の法律や規制に従ってください。
- ・ 本ユニットの正しい作動に必要な、電源および水道が使用できることを確認してください。
- ・ 水圧は最高8バール(0.8Mpa)/最低1バール(0.1Mpa)にする必要があります。
- ・ シンクには、排水栓を使用しないでください。
- ・ ドリルで穴をあける際には、取り付け面の製造メーカーの指示に従ってください。
- ・ 本ハンドドライヤーは、HACCP Internationalによって、トイレや食品を調理する環境での使用が承認されています。(覆いのない食品から2.5メートル以上離れて取り付ける場合)

ご注意

- ・ 保証の詳細については、『取扱説明書』を参照してください。

重要

- ・ 保証の詳細については、『取扱説明書』を参照してください。

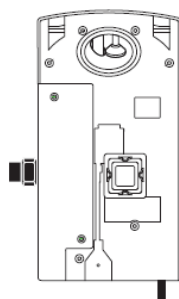
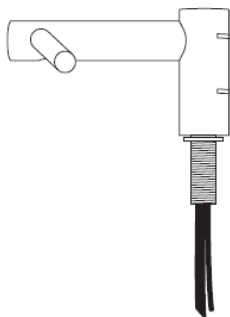
本ユニットまたは周りを清掃する際は、高圧洗浄機を使用しないでください。

AB09/10 共通取り付けガイド

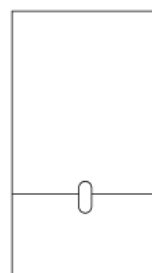
同梱品

Tap 本体
バックプレート式
ゴムパッキン固定用クリップ
ナット
安全ねじ
ホース

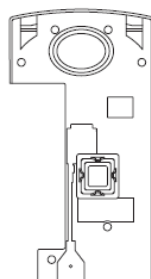
Tap 本体



モーターバケット



ホース



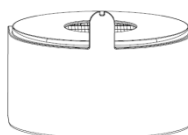
固定用
ナット



クリーニングカバー



HEPA フィルター



1. 取り付け

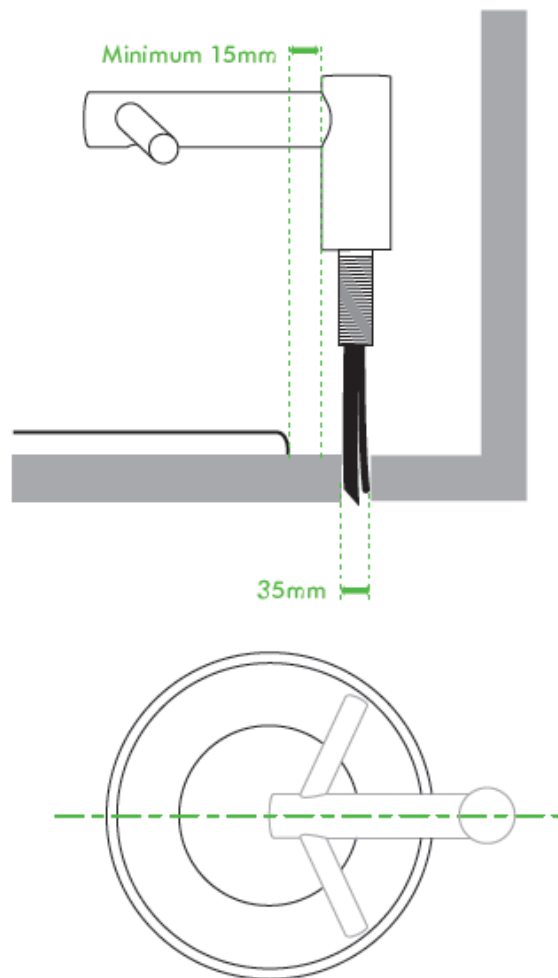
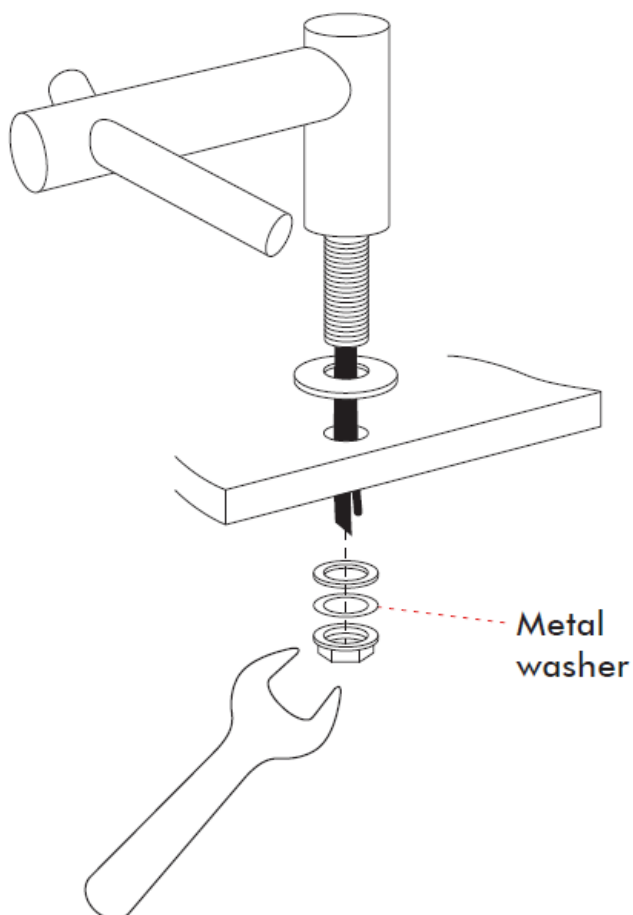
警告

部品には、とがった部分がある場合があります。けがをしないよう注意願してください。

1. 蛇口の位置を調整し、図で示すようにシンクの中央になるように設置し目印をつけます。
2. 設置場所に35mmの穴をあけます。
3. 本ユニットの正しい作動に必要な、電源および水道が使用できることを確認してください。

備考:シンクには、排水栓を使用しないでください。

備考:本ユニットの赤外線センサーが、排水溝などの光を反射する面に直接向かないように設置してください。



2. 蛇口を取り付けます

備考:設置前に取り付け台が乾燥していることを確認します。

備考:シーリング剤が必要になる場合があります。

1. 大きい方のゴムパッキンを本体のすぐ下になるように挿入します。
2. 本体、水管、センサーケーブルを取り付け台の穴に差し込みます。
3. 小さい方のゴムパッキン、そして金属ワッシャーを取り付け台のすぐ下に挿入します。
4. 本体が正しい位置に固定されるよう、金属ワッシャーをしっかりと締めます。

3. ホースを取り付けます

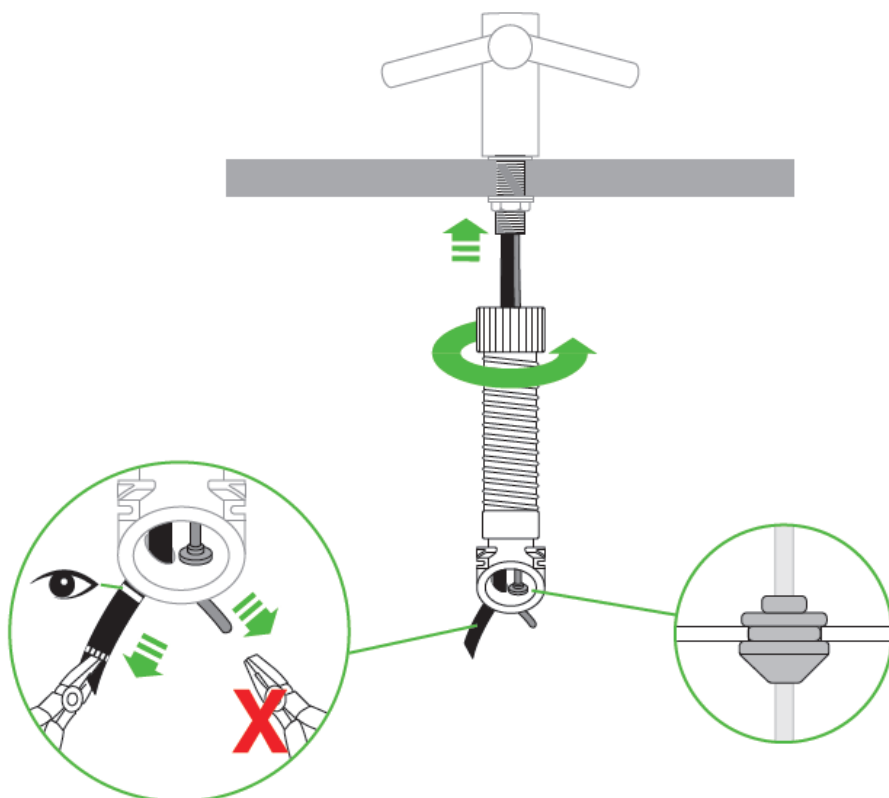
1. ホースを水管とセンサーケーブルの上にかぶせます。

2. 図のように、ホースの穴から水管を通します。白い実線が見えるまで、ペンチを使ってゆっくりと水管を引き出します。水管のグロメットとホースの間に、空気が漏れる隙間がないことを確認します。

3. ホースのもう一方の穴からセンサーケーブルを通します。ケーブルを傷つける可能性があるため、ペンチは使用しないでください。センサーケーブルのグロメットとホースの間に、空気が漏れる隙間がないことを確認します。

4. ホース上部のカラーを、手でできつく締めます。

5. T15トルクスドライバーを用いてバックプレートカバーと水用電磁弁バーを取り外します(手順9と12を参照)。



4. バックプレートの位置を選びます

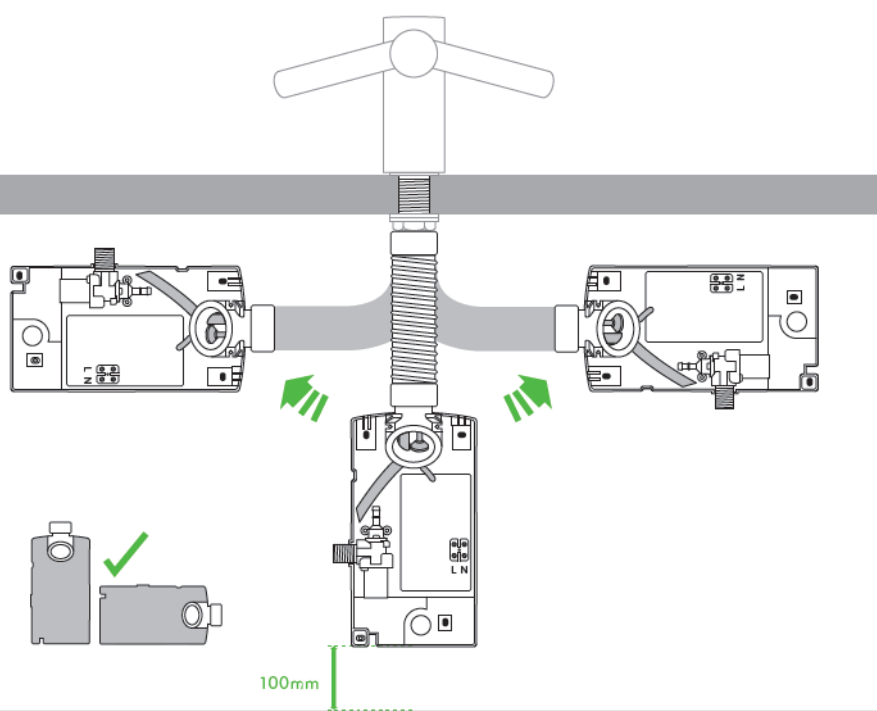
1. バックプレートの位置は、垂直または左右に90°回転のいずれかから選択できます。

2. ホースが届くようにバックプレートの位置を調整します。

3. 鉛筆で壁にバックプレート位置の目印をつけます。バックプレート本体を使って、4か所の固定ポイントに目印をつけます。

注意:ドリルで穴を開ける時には、ガイドとしてバックプレートを使用しないでください。ドリルで取り付ける部分のすぐ裏側に配管(ガス、水、空気)または配線(電源コード、ワイヤー)がないことを確認してください。

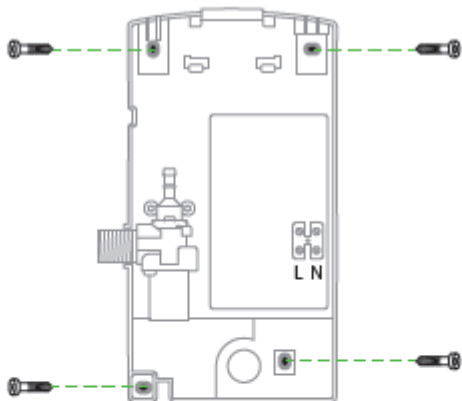
4. 壁にドリルで穴を開けます。



電源コード挿入

電源コードは、底面または背面から引き込めるようになっています。作業を始める前にどちらかで施工するかを決めます。

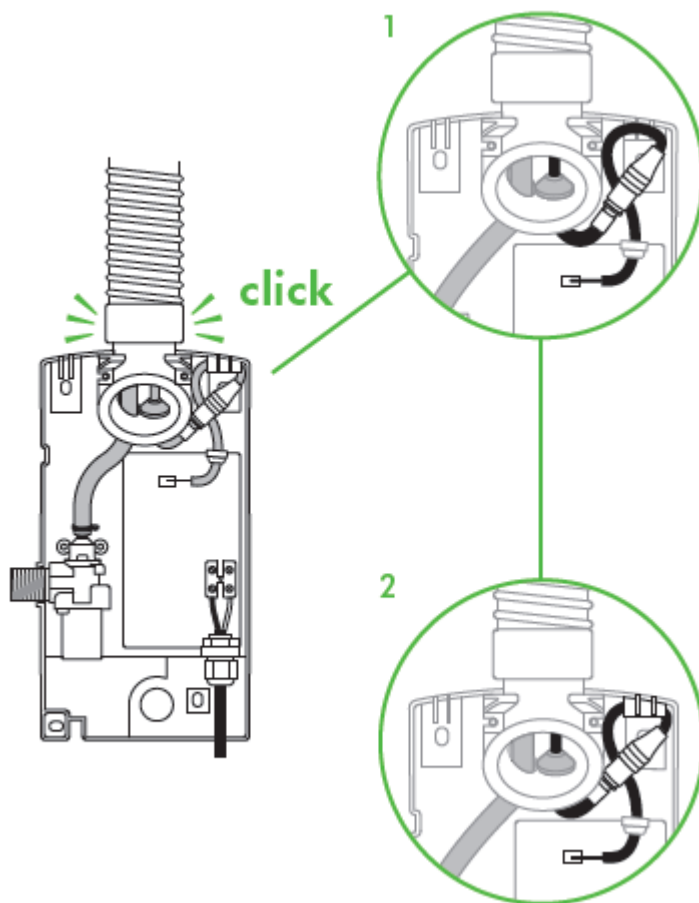
底面からケーブルを挿入する場合は、ペンチを使用してバックプレートの底にある、目印のついているパネル部をゆっくりとつまみ出します。つまみ出した後の穴がなめらかになるようにやすりをかけます。



5. バックプレートを壁に固定します

備考: 壁から電源コードをつなぐ場合は、バックプレートを壁に固定する前に電源コードを引き出します。

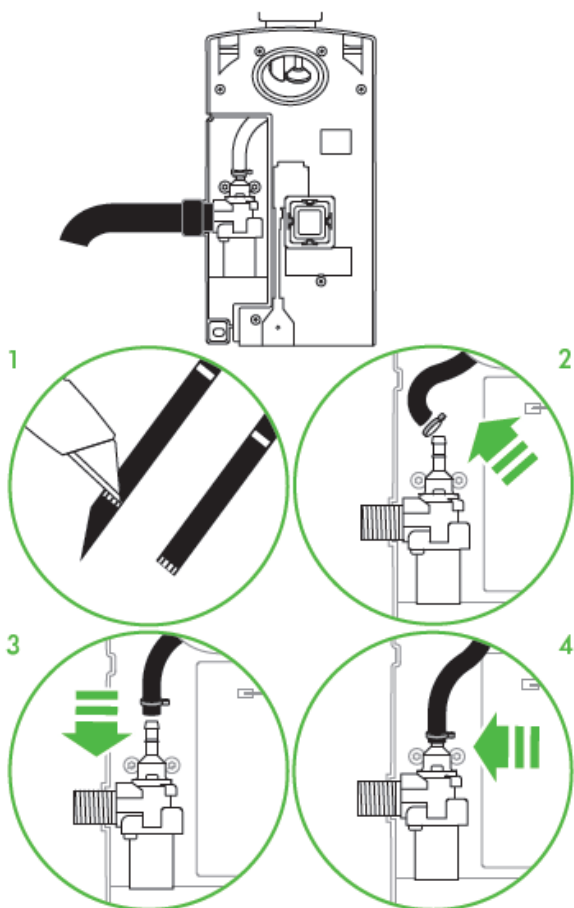
1. 適切な固定具を使ってバックプレートを壁に固定します。皿ねじは使用しないでください。
2. 本ユニットを壁に固定する際にはシーリング材を使用しないでください。



6. センサーケーブルとホースを接続します

1. センサーケーブルとホースを、図に示すようにバックプレートのコネクタに接続します。コネクタの向きを確認します(2つのタブの位置がぴったり揃っていないと通っていきません)。ケーブルがバックプレートの経路に正しく通っていることを確認します。

2. ホースをバックプレートに留めます。



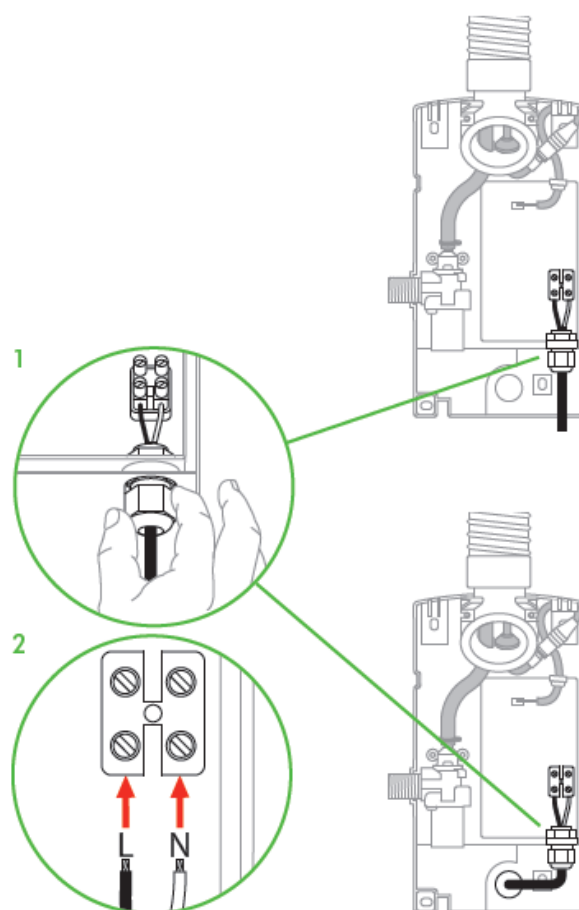
7. 水管の接続

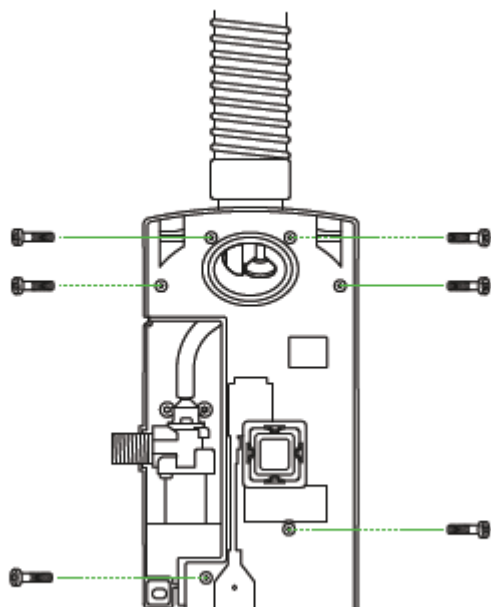
1. 水管を白い点線の部分で切りとります。
2. ホースバンド(同梱品)を水管に取り付けます。
3. 図に示すようにバックプレートの水用電磁弁に水管を差し込みます。
4. ホースバンドを使って固定します。

8. 主電源コードを配線します

警告: 感電の危険があります！

1. より線または単線を使用して電源に接続します。可動または固定電線管と配線は、バックプレートとコネクタブロックへの接続に十分な長さを確保してください。ケーブルグランドを締めます。
2. 接地側と非接地側を、対応するコネクタブロックに固定します。作業を進める前に接続部が正しいことを確認してください。





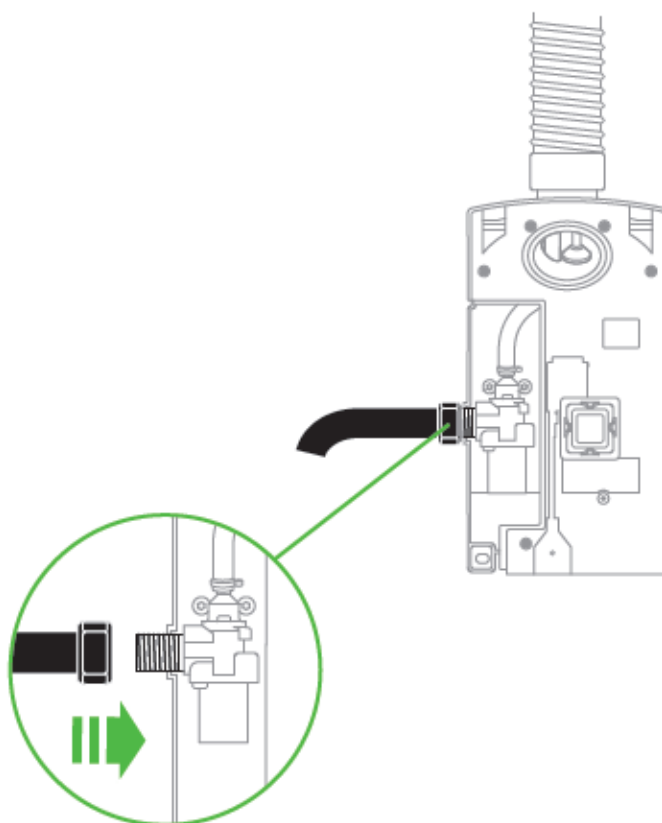
9. 電子部品カバーを取り付けます。

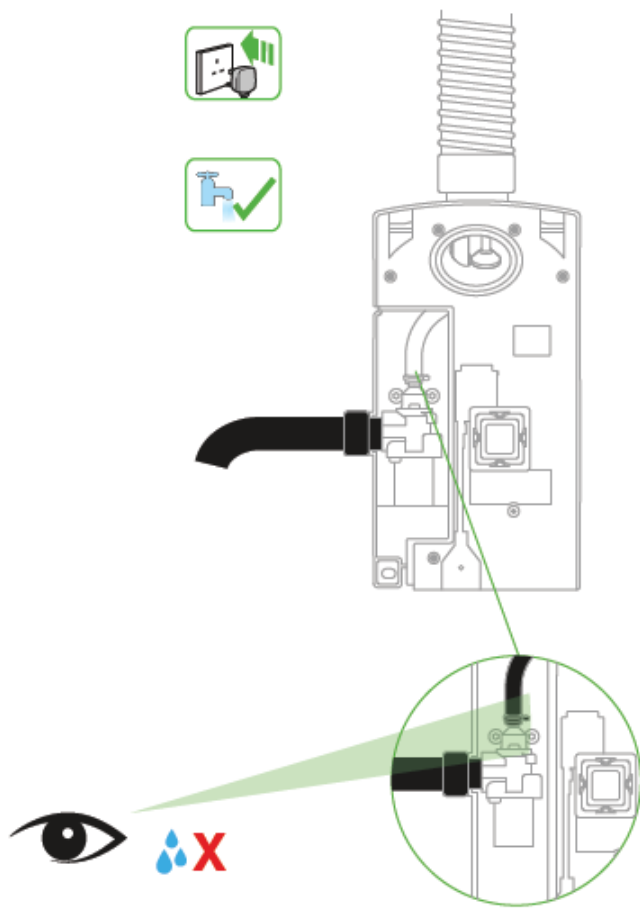
電子部品カバーの固定場所には6個のねじが含まれます。図で示すように電子部品カバーを6個のねじを使って固定します。カバーを固定する時は配線を挟み込まないように注意してください。

10. 混合水道管を接続します

1. 混合水道管をバックプレートの接続部に接続します。

2. 水道を開栓します。





11. 漏れがないか確認します

1.電源に接続します。

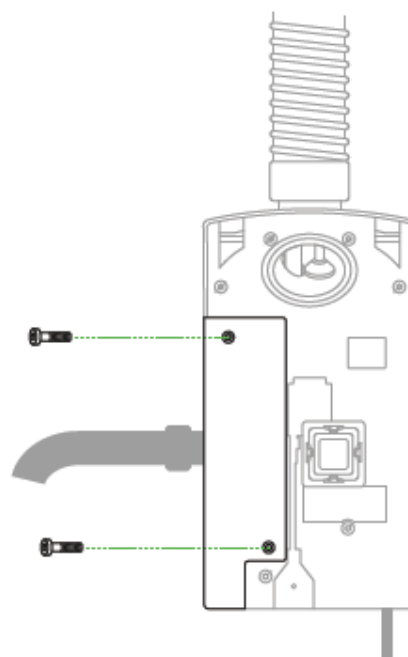
2.キャリブレーションサイクル:本体をシンクに取り付けた後、シンクと周囲の設備に合わせてセンサーが調整を行う時間が必要となります。初めて電源に接続した場合、30秒間のキャリブレーションサイクルを行い、センサーの周辺にある物が分析されます。この時、シンクに物が残っていないこと、手をかざすなどしてセンサーを作動させないことが重要です。30秒後、通常通りご利用いただけます。センサーに何らかの異常がみられる場合は、本ユニットの電源を切り、再度電源を入れてキャリブレーションサイクルを繰り返し行ってください。

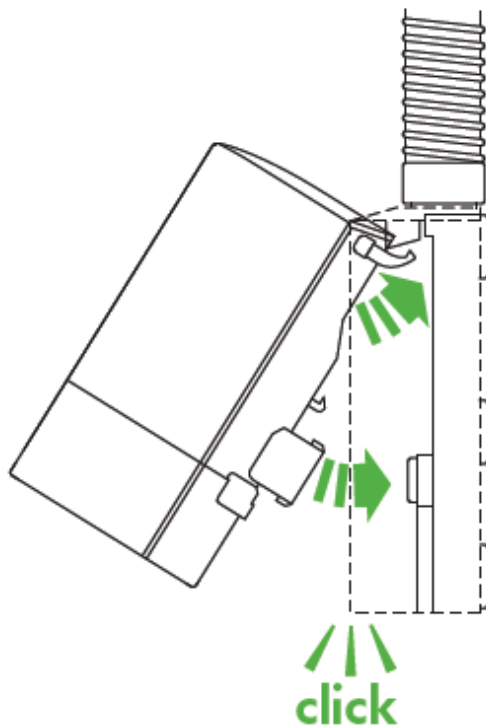
3.センサーの下に手を置き、水の流れを確認します。

4.主水管と本体の水管の間に水漏れが見られないか点検します。

12. 水用電磁弁カバーを取り付けます。

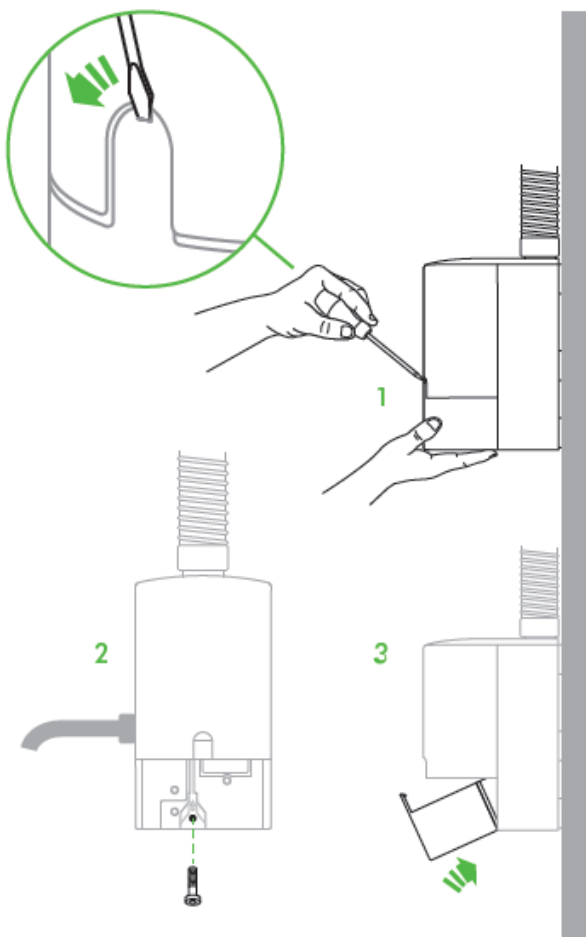
図に示すように(同梱品の2本のねじを使用して)水用電磁弁カバーをバックプレートに固定します。





13. モーターバケットを装着します。

1. モーターバケットをバックプレートカバーの上部に取り付けます。図に示すように定位置でカチッと音がするまで下方方向にゆっくり動かします。しっかりと押し入れます。
2. 本ユニットが正しい動作をするかテストします。
3. モーターバケットを取り外すには、底部のリリースキャッチに押し入れて持ち上げます。

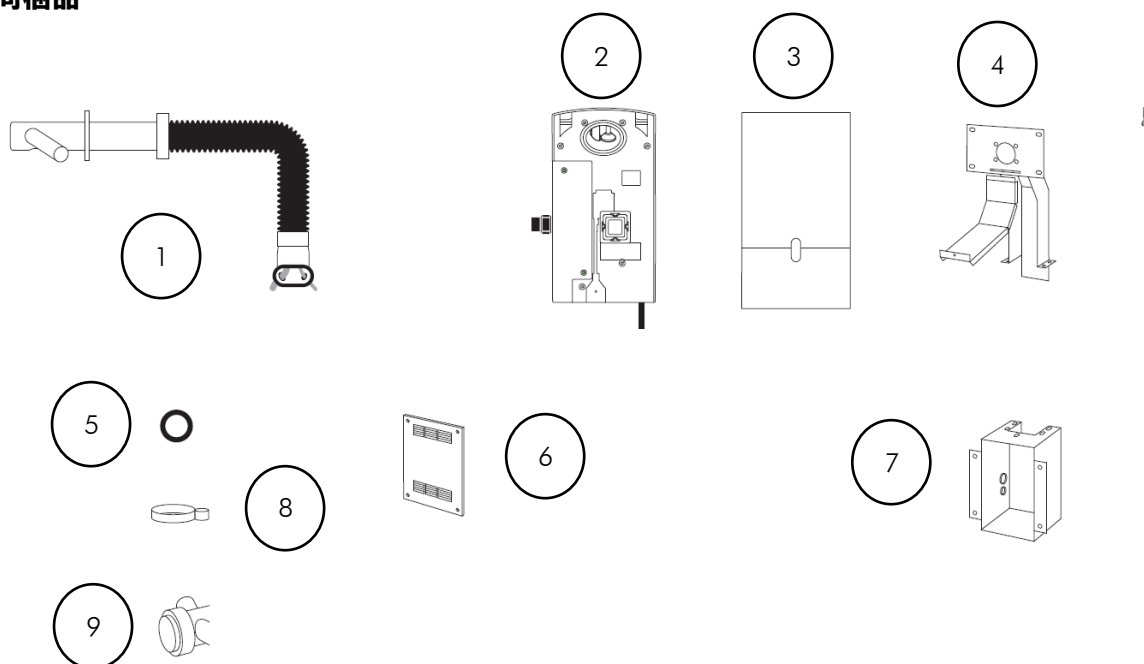


モーターバケットをバックプレートに固定します (モーターの盗難防止オプション)

1. フィルターを取り外すには、ドライバーをゆっくりと回して、図に示すようにフィルターのタブをはずします。
2. 同梱品の安全ねじを使ってモーターバケットをバックプレートに固定します。
3. フィルターを固定します。

AB11 取り付けガイド

同梱品

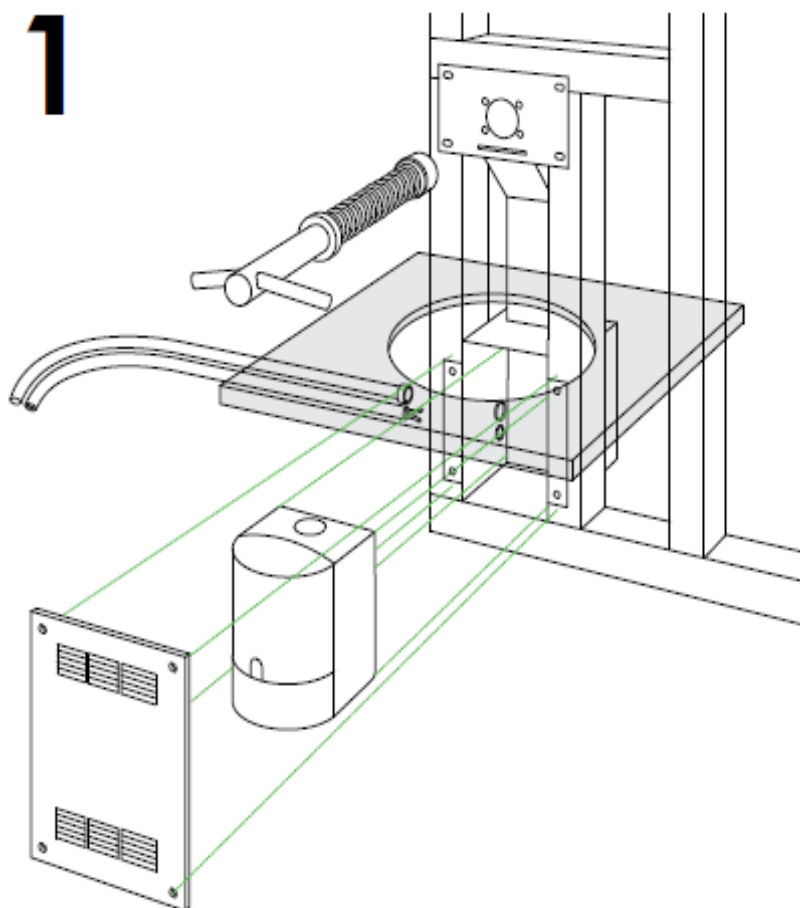


- ① ホース付き Tap
- ② バックプレート
- ③ モーターバケットとフィルター
- ④ ダクトとダクトカバー
- ⑤ ゴムパッキン
- ⑥ エアベントカバー
- ⑦ メタルキャビネット
- ⑧ ホースバンド
- ⑨ クリーニングカバー

その他

- M5×16 キャップヘッドボルト 5 個
- M5×38 木ねじ 8 個(皿穴木ねじ)
- M5 金属ワッシャー 9 個
- M5×60 皿ボルト 4 個
- M6×76.2 ボタンヘッド木ねじ 4 個
- M6 金属ワッシャー 4 個
- M5 ナット 5 個

1

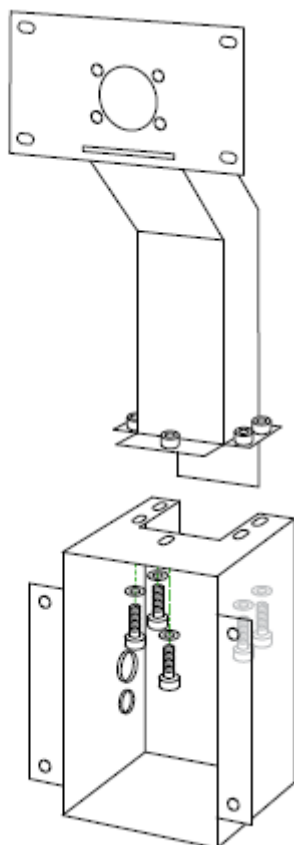


取り付け場所を決めます

1. 本ユニットは、モーターバケットが大壁の裏側に配置されるように設計されています。
2. シンクの位置を決めた後に本ユニットの位置を合わせます。シンクの位置からすべての推奨位置を計算できます。
3. 作業を始める前に、大壁、壁表面、取り付け面、シンク、本ユニットの位置を含め、すべての正しい測定値が工事で考慮されていることを必ず確認してください。
4. 測定値として重要なものは、蛇口の中央から床までの距離です。推奨距離は約955mmですが、シンクの高さの好みに応じてこの値は変わります（セクション5を参照してください）。
5. メタルキャビネットを間柱の間に取付けることができるよう、間柱が垂直になっている必要があります。
6. 水平な間柱のひとつは、
 - a) 金属製ダクトおよび本ユニットの全重量を支え、
 - b) 蛇口本体が正しい位置にくるように取付ける必要があります。
7. 複数のユニットを壁に沿って互いに隣り合って取付ける場合、間柱、石こうボード/壁表面、水道/ガス/電源、シンク、本ユニットなどを正しい位置に合わせるために慎重に計画を立てる必要があります。
8. 電源供給、混合水道供給、排水接続部が本体の接続に使用できることを確認します。
9. 取り付けおよび保守点検のために必要なスペースを確保します。

備考: シンクには、排水栓を使用しないでください。

2



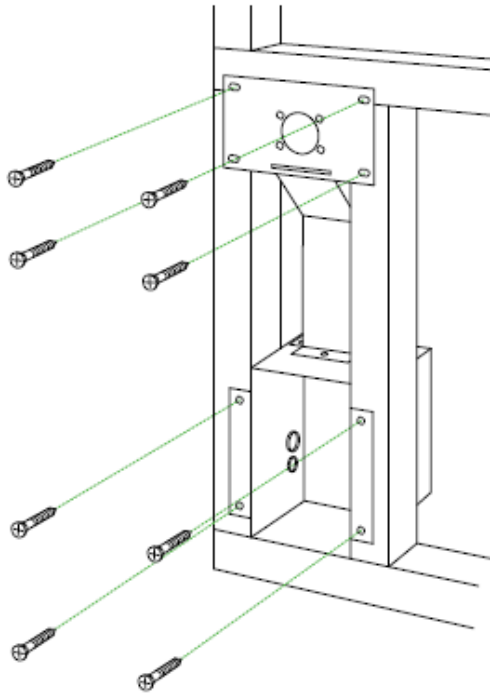
取り付け前の準備

警告

部品には、とがった部分がある場合があります。けがをしないようご注意ください。

1. キャビネットとダクトを組み立てます。
 - a) ダクトカバーをかぶせます。
 - b) ボルト(5本)と金属ワッシャー(同梱品)を使ってメタルキャビネットとダクトを固定します。
 - c) メタルキャビネットアッセンブリを取り扱う際には注意してください。

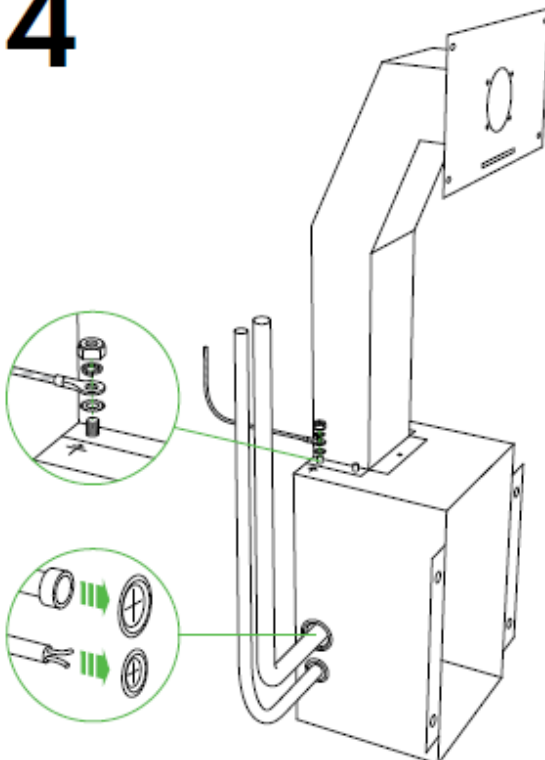
3



メタルキャビネットの取り付け

1. 床に蛇口の中心位置の目印を付けます。
2. 以下の位置を固定するため、間柱にねじ穴の場所に目印を付けます。
 - a) 蛇口の上部留め具の4か所と
 - b) メタルキャビネットのフランジ部分の4か所、合計8か所に
3. ドリルで穴を開けます。
注意:ドリルで穴を開ける際には、ガイドとしてバックプレートを使用しないでください。
4. 上部留め具とメタルキャビネットをねじで間柱に取り付けます。
壁から飛び出さないように、皿穴木ねじ(同梱品)の使用をお勧めします。

4



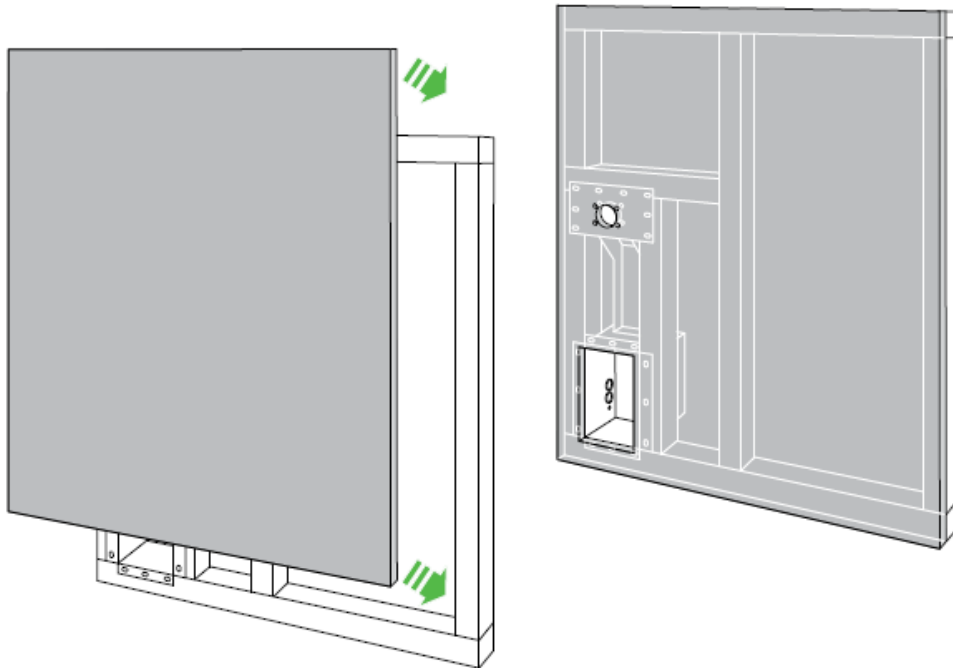
電源および水道の接続準備

警告:感電の危険があります！

備考:アース工事を確実に実施してください。

- a) ダイソンでは、バックプレートを取り付ける前にメタルキャビネットに対して電線と混合水道管の位置を合わせる方法を推奨しています。
- b) 下部のグロメットに小さい穴を開け、電線を通します。適切な電源コードを使用してください。電源コードは、バックプレートとコネクタブロックへの接続に十分な長さを確保してください。
- c) 上部のグロメットに小さい穴を開け、混合水道管を通します。

5



石こうボードの取り付け

重要:この段階を始める前に、すべての測定を正確に行い、次の各手順を確認してください。

段階1: 石こうボードの測定

石こうボードを取り付け場所の壁に置きます。以下の場所を測定して正しく目印を付けます。

1. 蛇口本体を取り付ける穴。予定されるシンクの端から蛇口穴の中心までの高さは121mmにする必要があります。
2. 蛇口本体を取り付ける際の4つのねじ用穴。
3. シンクとカウンターの高さ(通常は800mm、または必要に応じた高さ)。

バックプレート/モーターバケット用の点検口

段階2: 石こうボードを壁に装着

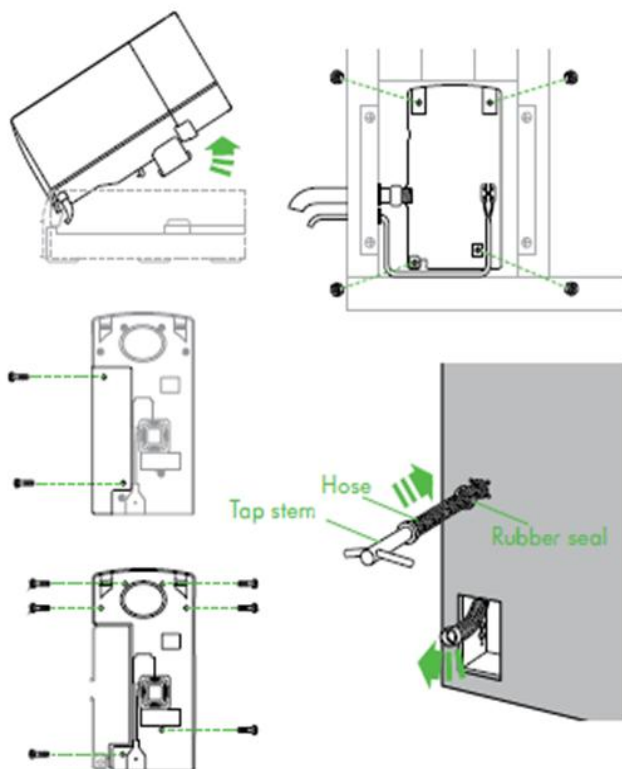
1. 適切な固定具を使用して石こうボードを壁に装着します。
2. 以下に取り付け部品に対して正しく位置合わせした穴を開けます。
 - a) 蛇口本体、および蛇口本体の取り付けカラー用固定ねじ(4本)。
 - b) バックプレートおよびモーターバケット。

備考:穴開け用の垂直ガイドとして壁裏の間柱を使用します。

段階3: カウンターを石こうボードに装着

1. カウンターとシンクを正しい高さで石こうボードに装着します。
2. 必要に応じて表面仕上げを行います。
3. メタルキャビネットからゴミを取り除きます。清潔でホコリがないことを確認します。

6



る隙間がないことを確認します。

バックプレートとホースの取り付け

バックプレート

1. バックプレートからモーターバケットを取り外します。底部にあるリリースキャッチを押しながら持ち上げます。モーターバケットは、必要になるまで、安全な場所で保管します。
2. 水道管のカバーと電気カバーをバックプレートから取り外します。取り外したカバーとねじを、安全な場所で保管します。
3. バックプレートをメタルキャビネットに挿入し、4つのナット(同梱品)で固定します。

ホース

1. グラマーキャップのねじを取り外します。
2. ゴムパッキンを蛇口本体に取り付けます。
3. ホースを水管とセンサーケーブルの上にかぶせます。
4. ホースの穴から水管を通します。白い実線が見えるまで、ペンチを使ってゆっくりと水管を引き出します。水管のグロメットとホースの間に、空気が漏れます。

5. ホースのもう一方の穴からセンサーケーブルを通します。ケーブルを傷つける可能性があるため、ペンチは使用しないでください。センサーケーブルのグロメットとホースの間に、空気が漏れる隙間がないことを確認します。

6. ホース上部のカラーを、手できつく締めます

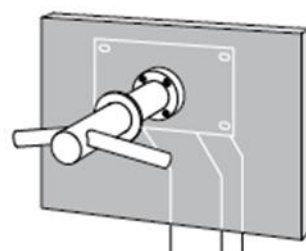
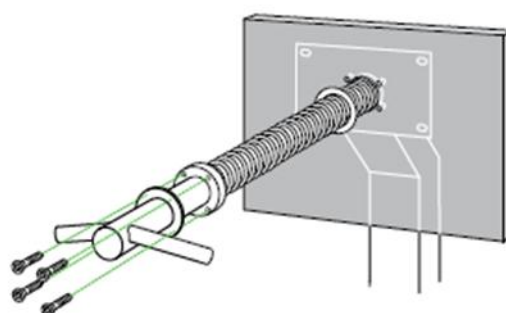
7. 石こうボードの穴から蛇口本体とホースを金属製のダクトまで通します。水管とセンサーケーブルを最初に通してください。蛇口と壁の間にゴムパッキンを取り付けます。

7

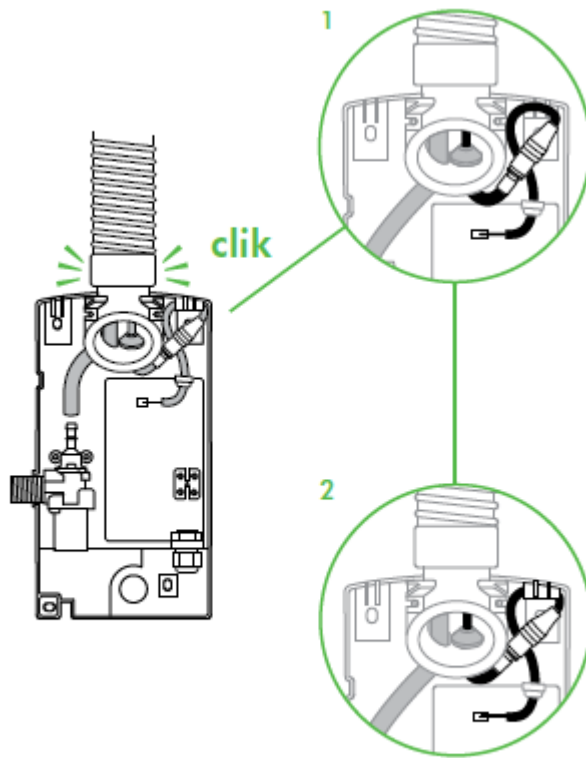
蛇口の固定

1. 4本のねじ(同梱品)を使って蛇口本体の首を石こうボードの表面に固定します。石こうボードの裏側で蛇口ブラケットの穴とねじがぴったり合うようにします。ねじを締める前に蛇口が水平であることを確認してください。
2. グラマーキャップを手できつく締めます

備考:本ユニットの赤外線センサーが、排水溝などの光を反射する面に直接向かないように設置してください。



8

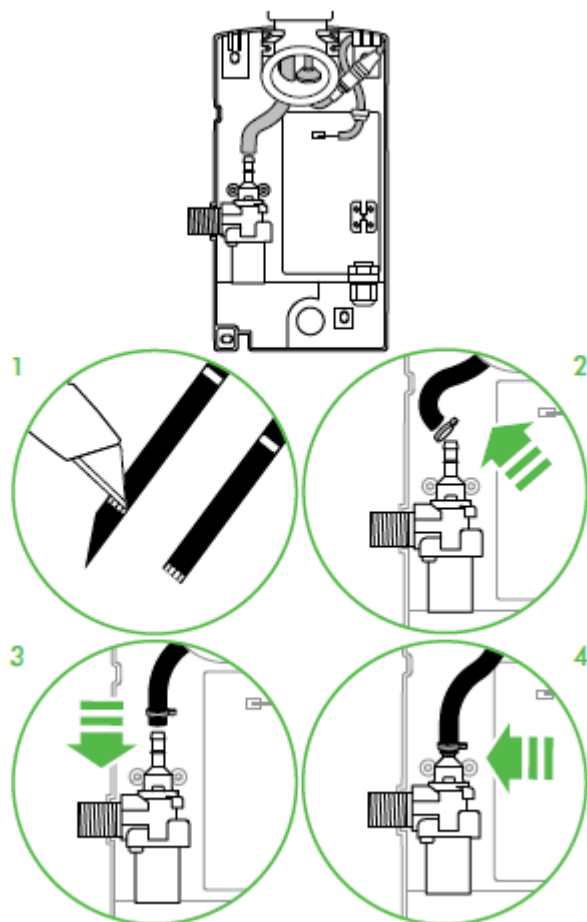


センサーケーブルとホースを接続します

1. センサーケーブルとホースを、図に示すようにバックプレートのコネクタに接続します。コネクタの向きを確認します(2つのタブの位置がぴったりそろっていないとなりません)。ケーブルがバックプレートの経路に正しく通っていることを確認します。

2. ホースをバックプレートに留めます。

9



水管の接続

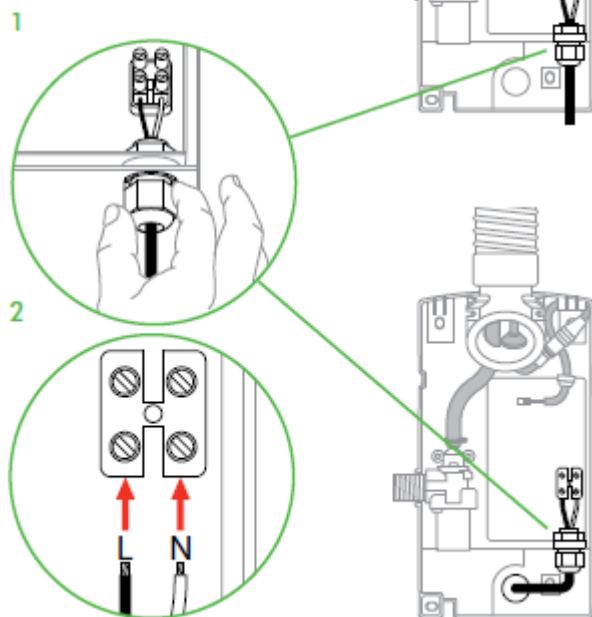
1. 水管を白い点線の部分で切りとります。

2. ホースバンド(同梱品)を水管に取り付けます。

3. 図に示すようにバックプレートの水用電磁弁に水管を差し込みます。

4. ホースバンドを使って固定します。

10



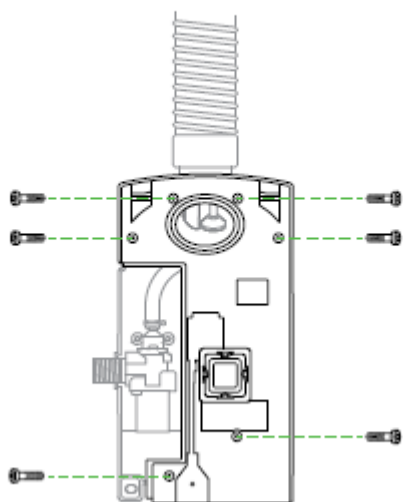
主電源コードを配線します

警告：感電の危険があります！

1. より線または単線を使用して電源に接続します。より線または単線を使用して、バックプレートとコネクタブロックへの接続に十分な長さを確保してください。ケーブルグランドを締めます。

2. 接地側と非接地側を、対応するコネクタブロックに固定します。作業を進める前に接続部が正しいことを確認してください。

11



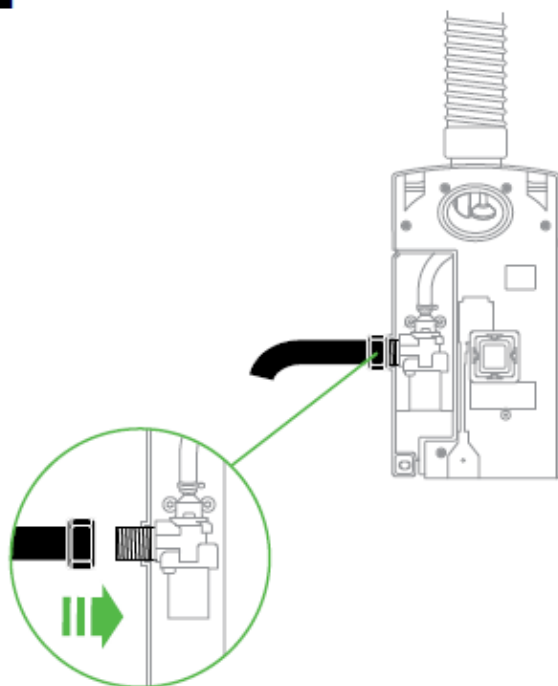
バックプレートカバーを取り付けます

バックプレートカバーの固定場所には6個のねじが含まれます。図で示すようにバックプレートカバーを6個のねじを使って固定します。カバーを固定する時は配線を挟み込まないように注意してください。

12

混合水道管を接続します

1. 混合水道管をバックプレートの接続部に接続します。
2. 水道を開栓します。



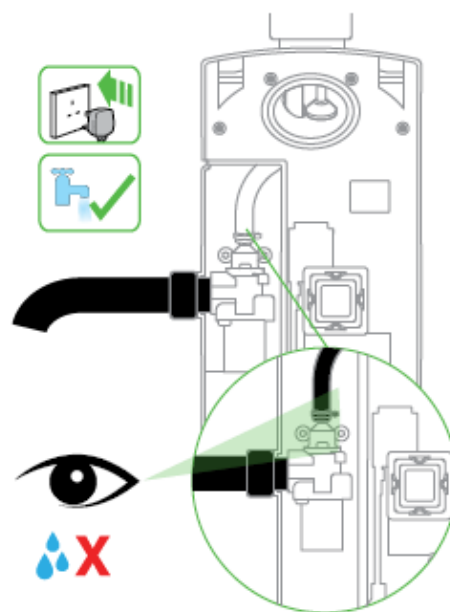
13

漏れがないか確認します

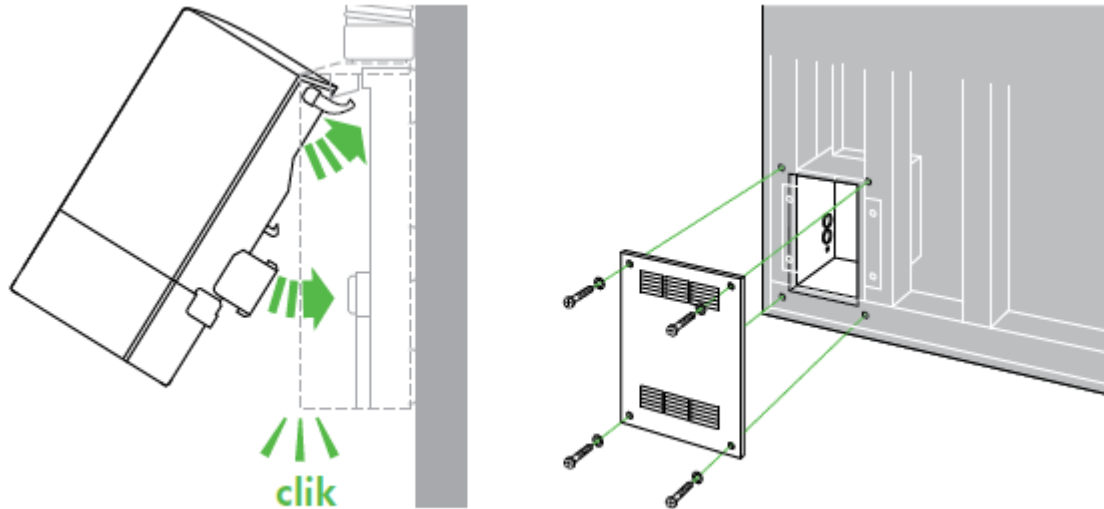
1. 電源に接続します。
2. キャリブレーションサイクル: 本体をシンクに取り付けた後、シンクと周囲の設備に合わせてセンサーが調整を行う時間が必要となります。初めて電源に接続した場合、30秒間のキャリブレーションサイクルを行い、センサーの周辺にある物が分析されます。この時、シンクに物が残っていないこと、手をかざすなどしてセンサーを作動させないことが重要です。30秒後、通常通りご利用いただけます。センサーに何らかの異常がみられる場合は、本ユニットの電源を切り、再度電源を入れてキャリブレーションサイクルを繰り返し行ってください。

3. センサーの下に手を置き、水の流れを確認します。
4. 主水管と本体の水管の間に水漏れが見られないか点検します。

図に示すように(同梱品の2つのねじを使用して)水電磁弁カバーをバックプレートに固定します。



14



モーターバケットを装着し、アクセスパネルを取り付けます。

1. モーターバケットを電子部品カバーの上部に取り付けます。図に示すように定位置でカチツと音がするまで下方方向にゆっくり動かします。しっかりと押し入れます。
2. 本ユニットが正しい動作をするかテストします。
3. モーターバケットを取り外すには、底部のリリースキャッチを押して持ち上げます。
1. アクセスパネルを取り付けます。キャビネットの底部に穴があることを確認します。
2. 4つのねじ穴の場所に目印を付けます。
3. 適切なねじを使用して穴を準備します。
4. ねじ(4本)を使用してアクセスパネルを石こうボードに固定します。
5. グラマーキャップを蛇口の中央に置いて固定します。

このたびは、Dyson Airblade Tapをお買い上げいただきましてありがとうございます。

今後の参考のために、シリアル番号をここに控えておいてください。シリアル番号は、本ユニット側面の格子の裏側にある定格銘板や、箱の中に入っている登録シート、解梱した時に本ユニットの前面にある黄色い情報ステッカーに記載されています。



製品ラベルサンプルイメージ(詳細は実物と異なります)

説明書を注意して読み、大切に保管してください。

安全にお使いいただくための注意

本ユニットの取り付けや使用前に、本取扱説明書および取り付けガイドに記載された手順と注意マークの項目をすべてお読みください。電気器具を使用する際には、以下を含む基本注意事項に常に従ってください。

警告

火災、感電、またはけがを未然に防ぐために、以下の点に注意してください。

1. 本ユニットを安全にご使用いただける責任能力を有する方の管理・監督下でない身体的活動に制限のある方、または知的知覚・感覚・視覚障害をお持ちの方が単独でご使用いただくことはできません。
2. 本ハンドドライヤーは、手を乾かすことを目的として作られていますので、それ以外の目的ではご使用にならないでください。ご不明な点がございましたら、＜話そうダイソンお客様相談室＞にお問い合わせください。
3. 保守点検を行う前に、点検を行うパネルの電源スイッチをオフにしてください。誤ってスイッチをオンにしないようにスイッチにロックがかかっていることを確認してください。電源をオフにするスイッチをロックできない場合は、その旨がわかるような警告をパネルに貼付けるなどをしてください。
4. 保守点検や修理が必要な場合は、＜話そうダイソンお客様相談室＞までご連絡ください。製品を分解しないでください。誤って組み立てると、感電または火災につながる恐れがあります。
5. お子様が本ユニットで遊ばないように十分に注意してください。

本ユニット自体または周りを清掃する時には、高圧洗浄機を使用しないでください。

警告：

火災や感電のリスクを低減するため、本ユニットをソリッドステート速度制御装置と併用しないでください。

注意

ハンドドライヤーは屋内に設置してください。動作温度は、0℃～40℃です。火災や感電のリスクを低減するため、本ユニットの内部/部品を湿気にさらさないでください。

ハンドドライヤーのお手入れ

警告

本ユニットは、止水栓の付きのシンクでは使用できません。水流を確保する前に、排水穴から異物が取り除かれ、水がきちんと排水されることを確認してください。

使い方

1. 蛇口の真下に手をかざすと、自動的に水が流れ、放すと水が止まります。
2. 蛇口の側面に手をかざすと、ハンドドライヤーが自動的に開始し、シート状の空気が手から水を拭き取ります。
3. 手をゆっくり前後に動かします。手のひらと手の甲をひっくり返し、両面を乾かします。

トラブルシューティングガイド

問題	解決策
ハンドドライヤーが起動しない。	資格のある電気技師により、ヒューズ/ブレーカーが動作しており、電源が接続されていることを確認してください。 清掃用のキャップが取り外されており、センサーに汚れがついていないことを確認してください。 スイッチを安全に切ることができる場合は、ユニットの電源をオフにし、再びオンにしてください。できない場合は、電気技師が行ってください。
ハンドドライヤーのオン/オフが不規則に切り替わる。	センサーに汚れがないことを確認してください。 センサーケーブルが蛇口からしっかりと接続されていることを確認してください。 資格のある電気技師が実行する必要があります。
使用中にハンドドライヤーが中断することがあるが、しばらくすると動作を再開する。	吸気口の格子にホコリが詰まっていないか点検し、取り除いてください。吸気口に異物が詰まっておらず、十分な隙間があることを確認してください(取り付け手順を参照。)
乾燥時間が延びた。 ハンドドライヤーから出る空気の温度が通常よりも高い。	吸気口の格子にホコリが詰まっていないか点検し、取り除いてください。フィルターを点検し、必要なら交換してください。 ホースが蛇口の底部にしっかりと装着され、漏れが見当たらないことを確認してください。資格のある電気技師が実行する必要があります。
ハンドドライヤーから出る空気が止まらない。	センサーに汚れや遮蔽物がないことを確認してください。
ハンドドライヤーから空気が出ない。	資格のある電気技師により、ヒューズ/ブレーカーが動作しており、電源が接続されていることを確認してください。 ホースが本体の底部にしっかりと装着され、漏れが見当たらないことを確認してください。資格のある電気技師が実行する必要があります。 本体からのセンサーケーブルがしっかりと接続されていることを確認してください。

水に関する問題

問題	解決策
蛇口から水が流出し続ける。	センサーに汚れやホコリがないことを確認してください。
蛇口から水が出ない。	電源供給および水道供給がオンになっており、遮断弁がひらいていることを確認してください。資格のある電気技師が実行する必要があります。通気装置にゴミがないことを確認し、必要に応じて除去/掃除/交換してください。
水温が高すぎたり、冷たすぎたりする。	<話そうダイソンお客様相談室>にご連絡ください。

ご不明な点は、<話そうダイソンお客様相談室>までお問い合わせください。

食品調理場での使用

本ハンドドライヤーは、HACCP International によって、トイレや食品を調理する環境での使用が承認されています。(覆いのない食品から2.5メートル以上離れて取り付ける場合)。

掃除

本ハンドドライヤーは、毎日のお手入れが必要です。製品の性能を最大限に発揮させ、衛生的な状態を保つために、次の2つの簡単な手順に従ってください。誤った掃除の仕方や製品の使用により保証適用外になる場合があります。

1. 弱めの洗剤で拭き上げ、水ですすぎます。
2. モーターバケットの底部にある吸気口は定期的に掃除してください。

現地の規制によって、バクテリアの繁殖を最小限に抑えるため、温度調節機能付き水道装置は特定の清掃方法に従うことが求められる場合があります。このような規制を満たすことができるように、本ユニットは温水と特定の薬品の両方を用いた内部清掃に耐えられるように設計されています。詳細については、<話そうダイソンお客様相談室>までお問い合わせください。

一般的なアドバイス

化学洗浄剤を使用する際は、希釈倍率の適量も含め、製造者の指示に従ってください。化学薬品を使用する際は、適合するかどうかを目立たない部分で試してからご使用ください。化学洗浄剤以外にも、特に油やアルコール系の製品など有害な液体が本ユニットに付着しないようにご注意ください。

水に関するガイドライン

本ハンドドライヤーは防水プロテクションIPX5の認定を受けており、手洗いによる洗浄のみ可能となっておりますので、高圧洗浄はご使用にならないでください。高圧洗浄を行うと内部に水が入り、感電恐れが生じる場合があります、お客様の保証が無効になる場合がございます。

電磁弁の交換に関するガイドライン

ハンドドライヤーの電磁弁を交換する必要がある場合があります。ご不明な点がある場合は＜話そうダイソンお客様相談室＞にご連絡ください。電磁弁を交換する際には、本ハンドドライヤーの電源および水道管の接続を取り外さなければなりません。これを怠ると、重大な事故や設備の損傷につながる可能性があります。

HEPAフィルターの保守点検

ハンドドライヤー底面にある吸気口を定期的に確認し、ゴミやホコリがないようにしてください。柔らかい布で吸気口を拭くだけで十分です。ハンドドライヤーの使用頻度が高い場合は、本ユニットのHEPAフィルターの交換に必要な物が含まれた、ダイソン製(純正)フィルター交換キットをご利用ください。詳細は、本取扱説明書の最終ページにある＜話そうダイソンお客様相談室＞にご連絡ください。フィルターのお手入れ、また、交換は、フィルター交換キットの手順に従って行って下さい。ご不明な点は、資格のある電気技師に相談するか、＜話そうダイソンお客様相談室＞にお問い合わせ、もしくは、修理をご依頼ください。

廃棄に関する情報

ダイソン製品は、リサイクル可能な素材で作られています。本ユニットを廃棄される際は、適切にリサイクルを行なってください。

DYSON Airblade Tapハンドドライヤーの製品登録を行って下さい。

お客様に迅速かつ効果的なサービスをお届けできるように、お客様のユニットをWebサイト(www.dysonairblade.com)にてご登録ください。ご登録によりお客様の保証内容が登録され、お客様がダイソン製ユニットの所有者であることを確認したり、必要に応じて弊社から連絡を取ることができるようになります。ご登録の際は、お使いのユニットの底面にある定格銘板、箱に同梱されている登録シート、解梱した際に本ユニット前面に貼ってある黄色い情報ステッカーに記載されているシリアル番号が必要になります。本取扱説明書、取り付けガイドおよび清掃ガイドに記載されるすべての手順およびガイダンスは、お客様の保証書に準拠しており、ガイダンスを順守されない場合は保証が無効になる場合があります。

保証内容

製品保証利用規約

お買い上げいただいたユニットをWebサイトからご登録いただくと、お客様の製品保証がご購入いただいた日から適用されます。ご購入された際の証明書(レシートや領収書類)は保管していただくようお願い致します。購入したことを証明できる証明書が無い場合は、ダイソンの規約に従い、製造日から90日後が製品保証の開始日となります。本ユニットの販売場所がEU圏外の場合、保証は本ユニットが販売国で取り付け、および、使用される場合に限り有効となります。

保証適用範囲

5年保証

ハンドドライヤーの材料、部品または製造工程に起因する不具合が生じた場合、ハンドドライヤーが取扱説明書や設置ガイドに従って使用されている条件で、5年間の製品保証が適用されます。詳細については、＜話そうダイソンお客様相談室＞にお電話ください。保証期間中に電気的な不具合が生じた場合、ダイソンは作業手数料無料で修理をお引き受けいたします。タップ本体、モーターバケット用バックプレート、フィルターおよび電磁弁の交換は作業手数料無料の対象ではありません。これらの部品が故障した場合は、お客様の手配による設置現場での交換作業のために交換部品を提供します。さらに詳細情報が必要な場合は、＜話そうダイソンお客様相談室＞にお問い合わせください。

- ・ 返却およびダイソンによって交換される部品は、ダイソンの所有物となります。
- ・ 保証書に基づきお客様のダイソン製ユニットのいかなる部品の交換も、保証期間を延長するものではありません。
- ・ 保証は、お客様としての法定権利に対して追加はされても悪影響を及ぼさない利益を提供するものです。

保証範囲外

ダイソンでは、欠陥の理由が以下の場合には修理または交換を保証しません。

- ・ 偶然的損傷、不注意な使用または過失による故障、作為または不作為による悪用、放置、破壊行為、
- ・ 『本取扱説明書』に従わない本ユニットの不注意による操作もしくは取り扱い。
- ・ ダイソンの指示に従って組み立てまたは取り付けを行わなかった部品の使用。
- ・ ダイソンの純正品ではない部品および付属品の使用。
- ・ 取り付けミス、またはダイソンが提供する取り付け手順に正確に従わない取り付け(ダイソンが取り付けを行う場合を除く)。
- ・ ダイソンの指示に従わずに行った修理または改造。
- ・ 輸送、天候、停電または電力サージなどの外部要因による損傷。
- ・ 通常使用による摩耗(ヒューズなど)。
- ・ 本マニュアルの手順に従わずに掃除することで生じた損傷。例えば、本ユニットに有害としてリストに記載された化学物質または製品を用いて掃除する場合など。
- ・ 本マニュアルで禁止された掃除方法や取り扱い方法によって水が浸入したために生じる損傷。
- ・ 感電、浸水もしくは構造による損傷、または製品の故障によって生じる事業もしくは収益の損失。

この保証は、本ユニットが販売国以外で取り付けおよび使用される場合には無効になります。

保証対象範囲に関してご不明な点がある場合は、ダイソンまでご連絡ください(詳細は最終ページに記載)。

個人情報の保護について

- ・ お客様の情報は、ダイソンおよびその代理人によってプロモーション、マーケティングおよび保守点検の目的で保管されます。
- ・ お客様の詳細情報に変更がある場合、マーケティングに関する好みについて考えが変わった場合、または弊社の個人情報使用に関してご質問がある場合は、ダイソンまでお問い合わせください。
- ・ 弊社の個人情報保護に関する詳細は、ダイソン Web サイトの個人情報保護を参照してください。



www.dysonairblade.com

<話そうダイソンお客様相談室>

0120 295 731